

聖霊降臨節第10主日礼拝

8月10日(日)10時半

- 前奏
 招詞 マタイ9:13
 ○頌栄 21-24
 ○交読詩編 92 (110頁)
 ○主の祈り (交読詩編に添付) [1-564]
 <子どもメッセージ>
 ○讚美歌 21-448
 ○使徒信条 (交読詩編に添付) [1-566]
 聖書 コリントの信徒への手紙二
 5:11~6:2
 (新約聖書324頁)
- 祈禱
 ○讚美歌 21-430
 説教 「和解の使者」
 伝道師 太田好則
- 祈禱
 ○讚美歌 21-197
 献金
 報告
 ○頌栄 21-27
 ○祝禱
 ○後奏

ご無理のない方は○印でお立ちください。

| 教会学校 | 8月中 | 9月再開日 |
|------|-------------|-------|
| 幼小科 | お休みです | 9月7日 |
| 中高科 | 24日 特別分級 | 9月7日 |

祈禱課題 「聖歌隊夏期集中練習のために」

かつて聖歌隊も、修養会を2泊3日で行ったり、夏に合宿を行ったりしていました。教会に泊まり込んでの練習をしたこともありましたが、だんだん泊りの行事も体力的に厳しくなり、土曜日と日曜日の通いの集中練習になり、コロナ・パンデミックを経て、近年は1日だけ、しかし、気持ちだけは集中して練習に取り組もうとしています。猛暑の中ではありますが、今年も聖夜讚美礼拝で歌う曲の練習にとりかかります。

より良い賛美の為に、隊員の増加が課題となっています。レギュラーの隊員はもちろん、非常勤隊員、臨時隊員の形でのご奉仕も歓迎されますので、一度、練習を見学してみてください。

☆西東京教区を覚えて—今週は鶴川シオン幼稚園、禿準一理事長のために祈りましょう。

◇ 本日の集会 ◇

- 聖歌隊練習 9時半 ろば
 ○コーヒータイトム 礼拝後 玄関ロビー
 — 以下、コーヒータイトム後 —
 ○ユースランチ会 ホール
 ○伝道委員会作業 ろば
 ○主任担任教師招聘委員会 祈禱室

◇ 今週の集会 ◇

祈禱会 13日(水) 19時半
 祈禱室・オンライン
 「聖歌隊夏期集中練習のために」
 ヨブ記41章
 熊取教会(大阪府)
 濱田美恵子牧師を覚えて

二〇二五年年度 教会標語 「今こそ、あなたがたは主を畏れ、真心と真実をもって主に仕えなさい。」 ヨシユア記二四章一四節

次週礼拝 8月17日(日)10時半

聖霊降臨節第11主日礼拝

- 説教 「御子の祈りに守られている私たち」
 牧師 古屋治雄
 聖書 ヨハネによる福音書
 17:1~17
 交読詩編 65
 讚美歌 21-13、21-196、21-393
 司式 太田好則

<子どもメッセージ>

◇ 次週主日の集会 ◇

- 聖歌隊練習 9時半 ろば
 ○コーヒータイトム 礼拝後 玄関ロビー
 ○聖歌隊夏期集中練習 コーヒータイトム後 ろば

先週講壇

「私は主、義を語り、正しいことを告げる者」
 イザヤ書45:18~25
 牧師 古屋治雄

◇戦後80年の今年、教団は在日大韓基督教会と連名で「2025年 日本基督教団・在日大韓基督教会平和メッセージ」を公表した。また教団常議員会は「戦後80年にあたって、平和を求める祈り」を公表した。その中で、1945年8月15日が敗戦、終戦、光復と様々な呼ばれることの意味を噛みしめ、私たちは誰の痛みを受け止めたのか、私たちに苦悩と痛みを被った人々の声を聴く耳があったのか、と問いかけている。また、何千万の命が奪われ、傷つけられたことを深く悔い改め、二度と過ちを犯さぬようにと願っている。しかし今なお、多くの戦争、内戦があり、1億人が難民になっている。私たちはそれでも、復活の主が平和へと導かれることを信じ、イデオロギーや歴史観の違いを超えて、御前に立ち、平和に仕える者とされるように、と主に憐みを乞うのである。この表明は教団として、主の教会の歴史を担う者としての表明である。たとえ見解が異なっている、私たちは主イエスによってこの表明に招かれている。日本は80年間、本格的な戦争をしなかった。しかし直ちに恒久平和に向かっている現実もある。私たちは神の救いの歴史を担う者として、どう歩むべきかが問われている。

◇第2イザヤは王国が滅亡し、主な働き人が捕囚として連れ去られるという出来事の中で、捕囚は神の裁きではあるが、その中で慰めを語り、新しい計画へと呼びかけるのである。帰還できるとしても、人々の関心は、どう生き延びるか、どう生活を再建するのか、といった点に向けられる。その中で預言者は、神の義が根を下ろすようにと呼びかける。神の義が出発点なのである。それぞれの正当性の主張はあるが、まず正義のもとに共に生きる、という視点が大切なのである。地上に生きる民として主の御心に生きなければならない。他者を押しつけていないか点検が必要である。自分勝手は御心ではない。神の御言葉を聞き取り続けなければならない。「義に飢え渴く人々」として共に生きよう。

(要約:太田好則)

◇ 報 告 ◇

- 3日礼拝後、平和集会在6年ぶりに行われ、ホールにて記録映画「The A-bomb ヒロシマで何が起ったか」を鑑賞後、広島にゆかりのある太田先生・古屋先生から自身や家族の体験を交えたお話を伺いました。最後に日本基督教団の「戦後80年にあたって、平和を求める祈り」を全員で祈りました。参加者43名。
- 10月19日(日)に行われるバザーへの献品をお願いしています。9月28日までの毎日曜日に受け付けます。ご協力をお願いします。
- 13～14日(水・木)、事務室はお休みです。ご注意ください。(太田伝道師はいます。)

< 献金等振込先 >

- ・郵便振替 00110-8-196270
- ・三菱UFJ銀行阿佐ヶ谷駅前支店普通 1011835

定期集会案内

- 主日礼拝 毎週日曜日 10時半
- 火曜礼拝 毎月第2・4火曜日 15時
- 教会学校 毎週日曜日 9時
- 祈祷会 毎週水曜日 19時半
- 日曜求道者会 毎週日曜日 9時10分
- 聖書に親しむ会(木曜求道者会)
毎週木曜日 19時半

◇ 予 告 ◇

- 24日の第4主日の集いは、「阿佐ヶ谷教会に流れ込んでいる信仰の遺産」の4回目として「左近義弼牧師、左近義慈牧師の信仰と歩み」と題して語っていただきます。
- 特別伝道礼拝 9月28日(日)10時半
説教: 月本昭男先生(立教大学名誉教授)
午後、講演会もあります。チラシを利用して、お友だち、ご家族など、たくさんの方をお誘いしましょう。

聖書日課

| | | |
|--------|---------------|-------------|
| 11日(月) | マタ 7:1-12 | ダニ 8:1-14 |
| 12日(火) | 7:13-29 | 8:15-27 |
| 13日(水) | 8:1-13 | 9:1-19 |
| 14日(木) | 8:14-22 | 9:20-27 |
| 15日(金) | 8:23-34 | 10:1-14 |
| 16日(土) | 9:1-8 | 12:1-13 |
| 17日(日) | ヨナ 3:1-5 | 使徒 9:26-31 |
| | マタ 9:35-10:16 | 詩編 71:14-19 |

- 主任牧師 古屋 治雄
○伝道師 太田 好則

furuya@asagaya-church.com
ota@asagaya-church.com

教職との面会をご希望の方は電話またはメールで予約の上、お越してください。

「私が求めるのは慈しみであって、いけにえではない」

とはどういう意味か、行って学びなさい。私が来たのは、

正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。

マタイによる福音書9:13

日本基督教団 阿佐ヶ谷教會 週報

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5-18-10
Tel.03(3337)5879 振替 00110-8-196270
ホームページ <https://www.asagaya-church.com>
教職メール staff@asagaya-church.com
事務室メール office@asagaya-church.com